

日本 AALA 第 55 回大会に寄せられた

海外からのメッセージ

(国名、組織名のアイウエオ順)

第 2 部

1. キューバ キューバ共和国特命全権大使 ミゲル・アンヘル・ラミレス
2. キューバ諸国民友好協会 (ICAP) フェルナンド・ゴンサレス・ジヨルト
総裁
3. スリランカ スリランカ AAPSO アリヤダサ・ヴィディアセケラ代表
4. ニカラグア クラウディア M ペレス・ロペス ニカラグア共和国駐日
臨時代理大使
5. ネパール AAPSO ネパール ゴーパル・ポカレル・ビウオッシュ書記長

.....

★キューバ

ミゲル・アンヘル・ラミレス

キューバ共和国特命全権大使

友人の皆様へ

日本 AALA 第 55 回定期大会の開催にあたり、駐日キューバ大使館及び私自身よりご挨拶を申し上げますとともに、皆様がキューバ国民に長年にわたってお寄せ下さっている連帯の活動に謝意を表明するものです。

貴組織はこれまで、米国による対キューバ経済・貿易・金融封鎖を一貫して強く非難し、わが国の主権を守る闘いを支持し、キューバの現状を日本の人々に伝えることに貢献して下さいました。これらはいずれも、両国民の結びつきを深めるための基盤となりました。

今日も、私たちは米国の攻撃的政策の影響に苦しめられています。その政策とは、わが国の経済活動を最大限に妨げ、国民生活の質をさらに悪化させるものです。同時に、多大な資源を投入して、社会的安定を損なう反政府組織を立ち上げ、統率しています。いわゆる「カラー革命」をこのような方法で引き起こ

そうと望み、その結果としてキューバ革命の成果である社会的諸権利を崩壊させるとともに、所有構造を 1959 年以前のそれに引き戻し、国民に損失を与え、かつての新植民地支配層を利するものにしようとしています。

この戦略に伴うメディア戦争においては、皆様のような友人たちを世界中に持つことがキューバにとって不可欠です。独立を守り、より公平な社会を築こうとする善意のキューバ人にとって、皆様からの連帯はかつてないほど、心強い後押しとなっているのです。

この機会をお借りして、私たちの全面的な支持をお約束するとともに、今大会のご盛會を祈念致します。

2021 年 11 月 1 日、東京

キューバ諸国民友好協会 (ICAP)

フェルナンド・ゴンサレス・ジヨルト 総裁

謹啓

来る 2011 年 11 月 6 日に日本 AALA 第 55 回定期大会が開催されるにあたり、ICAP（キューバ諸国民友好協会）一同を代表し、また私自身より、心からお祝い申し上げます。

貴組織と私たちは正当な大義の擁護、ならびに諸国民の主権の擁護において、歴史的かつ緊密な関係で結ばれております。最小国の民族自決権を制限しようとし、同時に革新的な諸政府を制裁と経済封鎖で威嚇する不当な世界秩序に対し、これを今後も共に告発していきましょう。米国政府は南米大陸の複数国に対して嫌がらせや経済戦争、転覆活動を推進、支援しており、わが国に対してはこれを長期間にわたって維持しています。それを受けて、貴組織がこれまで折に触れて非難を表明して下さったことに感謝申し上げます。

パンデミック下にあっても 243 件の新規措置を維持・強化し、キューバ革命を窒息させようとしている中であって、皆様のような友人たちは諸国民の連帯を強化するための対話の場を築いて下さっています。

田中代表理事ならびに会員の皆様には、常にわが国に寄り添っていただきました。とりわけ、2019 年 1 月にわが国を襲った気象災害、そして今般の新型コロナウイルス感染症との闘いという困難な時期において、お心を寄せて下さっ

たことに感謝申し上げます。皆様からわが国民に向けて、友情のメッセージと寄付金を伴う連帯のご貢献をお寄せいただいたことに御礼申し上げます。これら連帯の行為の一つひとつが、キューバとその国民は孤立していない、ということをも固く確信させてくれました。

近年を通じて、私たちは AALA の諸団体、幹部、会員からのご支援を賜りました。この機会をお借りして、皆様と今大会の参加者全員に厚く御礼申し上げます。改めて「核兵器と外国軍事基地のない平和な世界」という正当なる主張を掲げる今大会に寄せて、ご盛会を祈念申し上げます。非同盟運動（キューバは創立メンバー）とのつながりにおいて、私たちには「帝国主義的エゴイズムを排除し、連帯と協力の諸原則を高める」という永続的な闘いが求められています。

常に起き上がり、同じようにそれを必要とするすべての人に手を差し伸べる国民であるキューバ国民より、参加者の皆様に謹んでお礼申し上げます。

第 55 回定期大会のご成功を！

私の最大級の敬意の証と共に。

2021 年 11 月 1 日、ハバナ市

“キューバ革命 63 年目の年”

(キューバ大使館訳)

★スリランカ

スリランカ AAPSO

アリヤダサ・ヴィディアセケラ代表

スリランカ AAPSO（アジアアフリカ人民連帯機構）を代表して、日本 AALA 連帯委員会第 55 回大会にお祝いを申し上げ、連帯の挨拶を送ります。

日本 AALA は、全ての国の中で、アメリカの妨害をはねのけて、第二次世界大戦後の平和運動の発展に大きな役割を果たしてきました。平和を守るたたかいを力強くすすめ、それを世界中に広げてきました。

私たちは、アジアアフリカ人民連帯機構（AAPSO）の一員として、我々の運動の発展に重要な役割を果たしている日本 AALA が今回、平和運動の促進の大会を行うことを大変嬉しく思っています。

参加されるすべてのみなさん。私たちは大会の成功を心から願っています。

ありがとうございました

2021 年 10 月 21 日

★ニカラグア

クラウディア M ペレス・ロペス

ニカラグア共和国駐日臨時代理大使

ニカラグア国民および和解と国民統一政府、さらに共和国大統領のダニエル・オルテガ司令官とロサリオ・ムリーリョ副大統領にかわり、日本アジア・アフ

リカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本 AALA）第 55 回全国大会にお祝いを申し上げます。

みなさんの組織が 1955 年の設立以来、軍備と核兵器のない世界をめざし、世界平和の強化のために貢献された努力は素晴らしいことで、感謝を申し上げます。私たちが人類にとって困難な時代に生きていることを考えると、あなたがたの貢献は本当に貴重なものです。

同時に私たちは、民族自決と主権、平和を守り、帝国主義政策と侵略とたたかうアジア、アフリカ、ラテンアメリカの人々にあなた方の組織から与えられた支援とご尽力に深く感謝しております。帝国主義の政策と侵略の矛先が私たちの人民にむけられているのは、彼らが地政学的利益を確保するために新植民地主義を再開しようとしているからです。

私たちは、ニカラグア政府と人民を代表して、あなたがたが熱い思いで友情と連帯の絆を強化し、ニカラグアが経験している現実を広く人々に知らせていただいていることはこのうえなく貴重なことと考えており、深く感謝を申し上げます。

駐日ニカラグア大使館から、革命的な兄弟の挨拶をおくり、あなたがたの組織
がこの第 55 回全国大会でおこなう活動に重ねて連帯を表明します。

みなさんの重要な仕事での成功を願っています。

友愛の挨拶をもって、

2021 年 11 月 4 日

東京にて

★ネパール

AAPSO ネパール

ゴーパル・ポカレル・ビウオツシュ書記長

日本 AALA が 2021 年 11 月 6 日に第 55 回全国大会を日本の首都、東京で開催
することを大変嬉しく思います。

日本 AALA は、世界平和の原則を堅持して、超大国間の核軍拡競争に反対してきた輝かしい歴史を持っています。宇宙と地球上に設置された核兵器の脅威は、依然とし平和を愛するすべての人々と諸国の主要な関心事です。同様に、世界市場を支配しようとする帝国主義国間の競争は、新たな危機を生み出しています。そのような文脈において、日本 AALA がバンドン精神と非同盟運動（NAM）の原則にしっかりと立っていることは、最も称賛に値し、価値のあることです。

ネパールの私たちも、2つの大きな核保有国のはざまにあって、核兵器の脅威に懸念を抱いています。日本 AALA 第 55 回大会が、人間が作り出す大惨事から人類を救うために世界平和のメッセージを広めるための画期的な出来事となることを願っています。

核兵器と同様に、気候変動も私たちにとって大きな懸念事項です。したがって、来るべき日本 AALA の大会が、普遍的な友愛の目標に反するすべての行動を拒否し、世界を守るための明確で力強いメッセージを発出することを期待しています。

アジア、アフリカとラテンアメリカの国々は、共通の運命のために連帯を強化する
必要があります。彼らの団結は、平等の正義と世界中の抑圧された人々のため
の自由を持った社会を構築するのに役立つでしょう。

敬具